

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年2月21日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	備前市役所	代表者名	吉村 武司
担当者部署	教育委員会	連絡先電話番号	0869-64-1892
担当者役職	室長	担当者氏名	高橋 清隆
住所	705-8602 岡山県備前市東片上126		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前回の議員研修会を受け、図書館の現状と問題点を洗い出し、特に市町村合併前の図書分館のサービスに関してご講義をいただいた。中央図書館の建て替えに関してだけ議論していると、日生・吉永分館が設置されている地域は、中央図書館の建設に対し地域間格差を感じてしまいがちになる傾向がある。まずは、現在の分館におけるサービスの向上を情報化の観点と現地でのサービスの観点から丁寧な説明をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年1月6日	支援・助言(実地)	有	令和5年2月8日	557
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年2月15日	支援・助言（オンライン）	9時30分	11時30分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	備前市役所	最寄駅	赤穂線西片上駅	
	所在地	備前市東片上126	最寄駅からの交通手段	徒歩8分	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	図書館事業推進室職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	新図書館建設を目指すなか、既存の図書館は建物の老朽化が著しく、床面積も狭小である。本が探しにくく、ICT環境が備わっていない状況で、県下での貸出冊数も最下位という状況である。WiFi環境も整っておらず、絵本においてはもはや何順に格納されているのかわからない状況となっている。また、合併前の旧町に設置されていた図書館のサービスについても、旧態依然となっており、アウトリーチ活動にも消極的となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本館が新たに新築されると新図書館利用者の満足度は高まることが予想されるが、市域も広いため頻りに利用できない方へのサービスを拡充・充実させる必要がある。そのためには、DXの利用の可能性、山間部・諸島部へ本の届けかたなど、現在実施できていないサービスの展開を検討・実施する必要がある。その点について、他自治体の事例をお伺いしながら、一つずつ実現に結び付けていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	まず、旧日生町や、旧吉永町の住民に対して、意見交換の場を設けるという提案があった。対話と住民のご要望やご意見をお伺いしながら丁寧な説明と新たなサービスを模索すべきであるとの提案をいただいた。また、ただ本を届けるだけではなく、キッチンカーとのコラボや法テラスとのコラボによる法律相談など、駐在所や法務局とのコラボについてもご提言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	支援を受けて、今後取り組むべき課題と目標が明確になった。まず、新図書館の建設については、開館に向けて職員体制の充実を図ることが必要であると感じた。職員採用を含め、市役所本部への	

(具体的にご記入下さい)	<p>臨に伺って職員採用の工夫を図る事がより必要であると感じた。職員採用も含め、人事担当者のアプローチが必要不可欠であると学んだ。また、ボランティア組織の育成については、他の自治体の事例をみても、一朝一夕にできるものではなく、時間をかけて取り組むことが、支援が長く続く傾向にあることも大変参考になった。今後、マイキープラットフォームを活用した貸し出しについても、市民カード化構想の実現に向け研究を進めていきたい。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<p>図書館整備基本計画を示した段階で、これから設計業者の選定や具体的な設計をお願いする段階であり、新図書館が開館した際のサービスの内容については、目指すべき方向性は、先生のお話でわかるが、そこへ至る各種研修のやり方や職員採用計画、地域情報化やDXへの取り組みなどは、具体的に予算化されないと言えないところがあるのでもう少し先に持ち越しとなっていると感じる。併せて、地区分館のサービスで、アウトリーチ活動について積極的に具体的にできることを模索していく必要がある。</p>	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>担当者と講師のZoom会議の形式となったため、アンケートは実施していません。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	<p>令和7年度に新図書館開館による図書館サービスを開始すること。(その先は、サービスの質を上げていくことだと考えております。)</p>	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



